

地方自治体への新しい技術導入に係る先進事例の情報提供等について

1. 趣旨

これまで業務削減、プロセス改善などの業務見直しを推進してきたなかで、今後、職員の働き方や仕事の進め方の見直しに向けて、AIやRPAなど新しい技術の導入について、関係部局と連携して取組を進めるにあたり、行財政改革推進本部本部員会議において、先進事例の情報提供を行う。

2. 概要

タイトル： つくば市におけるテクノロジーの社会実装

講演者： 毛塚幹人（けづかみきと）氏

1991年2月19日生。栃木県宇都宮市出身。東京大学法学部卒業後、2013年4月に財務省入省。国際局国際機構課（G20・IMF担当）、近畿財務局、主税局総務課等を経て2017年3月に退職。同年4月つくば市副市長に就任。政策企画、財政、経済振興、保健福祉、市民連携等を担当。未来投資会議産官協議会「スマート行政サービス」会合へアドバイザーとして参加。

内容： RPA等の活用において先進的な自治体であるつくば市の副市長から、スマート技術導入の意義や取組状況、成果等の情報提供を受ける。

※ つくば市では、つくば公共サービス共創事業（つくばイノベーションスイッチ）として、NTTデータと共に、「RPAを活用した定型的で膨大な業務プロセスの自動化共同研究」を実施